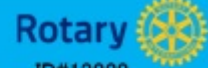




## 宇都宮ロータリークラブ会報



宇都宮ロータリークラブ 会長 岡崎善胤・幹事 熊本勇治 ID#13888  
テーマ「ロータリーは何をするか？」各々のロータリーの価値を行動しましょう！  
国際ロータリー会長 バリー・ラシン テーマ BE THE INSPIRATION  
国際ロータリー第2550地区 2018-19年度ガバナー 伊東永峯  
テーマ「ポールを語ろう…それは一人のインスピレーションから始まった」  
例会日 火曜日 12:30 会場 宇都宮東武ホテルグランデ 宇都宮市本町 5-12  
事務所 宇都宮市江野町 1-12 栃木実業ビル2F Tel 028-666-0555  
E-mail [u-rc01@silver.plala.or.jp](mailto:u-rc01@silver.plala.or.jp) FAX 028-666-0333

(2019年) 平成31年3月12日 No 32 2018~2019年度 (第3281回会報)

会員数 103名 出席者数 63名 出席率 68.5%

### ビジター紹介 (親睦活動委員会 明賀一博委員長)

黒内和男様 (ゲストスピーカー)

### 会長挨拶 (岡崎善胤会長)

皆様、例会にお集まり頂き有り難うございます。本日(3回目)と6月(4回目)に2550地区第3グループ会長・幹事会が開催されます。ガバナー補佐の招集により、10クラブの会長・幹事の話合いです。現在第3グループはとても良い連携をとっております。本日も宜しくお願い致します。

### 快出席祝 (出席委員会 稲野秀孝委員長)

篠崎昌平会員 (36年) 齋藤一郎会員 (35年) 荻山猛彦会員 (27年) 阿部欣文会員 (12年)  
栗飯原悟会員 (11年) 播摩聡会員 (10年) 大矢裕啓会員 (7年) 矢治和之会員 (7年)  
針谷隆之会員 (6年) 菅谷隆臣会員 (1年)

### SAA (矢治和之副SAA)

本日は、ミリオンダラーミールです。美味しいカレーを召し上がって下さい。

### 親睦活動委員会報告 (明賀一博委員長)

4月6日、親睦ゴルフコンペです。宇都宮カンツリークラブで行なわれます。18時より表彰式と懇親会を行ないます。場所は、インディゴ 85 です。日中ご都合の悪い方は、夜からの参加でも大歓迎です。ご参加の程、宜しくお願い致します。又5月6日は宇都宮市内10ロータリークラブの親睦ゴルフ大会が開催されます。今年度は10年に1度のホスト役を当クラブが担当を致します。実行委員長は、藤井会員です。是非、ご参加の程よろしくお願い致します。

### ニコニコボックス委員会 (重信猛雄委員)

誕生祝：北村光弘会員 小林辰興会員 矢嶋昭司会員 小宮正夫会員 増田和浩会員  
結婚祝：青木直樹会員 宮本隆昌会員 田中康明会員 関口快太郎会員 金山典生会員  
快出席祝：喜谷辰夫会員 岡崎善胤会長 神宮厚会員 齋藤一郎会員 矢治和之会員 菅谷隆臣会員  
毛塚武久会員

奥様誕生祝：岡崎善胤会長 齋藤高蔵会員 田嶋久登志会員 田中康明会員 伊原修会員 崎尾肇会員  
関口快太郎会員：葬儀御礼

和氣幸雄会員：宇都宮ピークス竣工祝式

### プログラム紹介 (プログラム委員長 岸本卓也委員長)

本日の卓話は、(株)とちぎテレビ代表取締役社長黒内和男様にお願い致しました。演題は「とちぎテレビ開局 20 周年におもう」です。黒内さんは、高根沢町ご出身です。1954 年お生まれ、明治大学ご卒業後 1978 年に下野新聞社に入社されました。政経部長、編集局長、専務取締役等歴任され、2017 年 6 月から現職です。宜しくお願い致します。

## 卓話「とちぎテレビ開局 20 周年に思う」

### (株) とちぎテレビ 代表取締役社長 黒内和男様

本日、お招きを頂きまして有り難うございます。本日こちらに、とちぎテレビの株主そしてスポンサーの方々がいっぱいいます。これまで 20 年間支えて頂きまして改めて感謝を申し上げます。有り難うございます。実は 7 年前、この宇都宮ロータリークラブさんで講演をさせて頂き、その時は政治の話をしてしまいました。参議院選挙の一年前でした。高根沢町長の高橋克法さんが、みんなの党の渡辺喜美さんから出馬を打診されましたが、福田富一県知事から「やめた方が」と言われ、最終的に自民党の公募候補として立候補しました。その様な経緯がありまして、県知事が現在も高橋克法さんの後援会長を務めております。



今日は皆さんにお配りを致しました資料を元に、お話をしたいと思います。お手元に「開局 20 周年の歩み」と 3 月のテレビ番組を配布させて頂きました。会社設立の経緯は、とちぎテレビ開局 20 年にまつわる話と今後のテレビ業界がどの様になって行くのか、その様な所をお話したいと思います。今から 20 数年前、17 社の免許申請がありました。当時私は、下野新聞社の県庁記者クラブ県政キャップをしておりました。とちぎテレビの開局に向けての取材をしておりました。2 年前にとちぎテレビ社長を務めることになり、不思議な縁を感じております。当時は、渡辺文雄知事の時代でした。当時全国 47 の県で、県域放送がなかったのが栃木県と茨城県の 2 県でした。その後バブル期を迎え、首都機能移転等の話がありました。映像で地元から情報を発信する県域放送があった方がよいのでは？と、経済界を中心に話があり「とちぎテレビ」を作ろうと発足しました。1990 年衆参で首都機能移転の決議を経て、1992 年国会移転法という法律まで成立しました。当時渡辺知事は、イメージアップにも良いと手を挙げましたが半信半疑でした。その後審議会が設置され候補地の選考に入ることになり、知事も本気になりました。1999 年、3 つの移転候補地があげられました。1 番栃木那須・阿武隈地域、2 番岐阜・愛知でした。1999 年石原都知事が首都機能移転反対ということで、棚上げになりましたが、最終的に渡辺知事が県域放送の開局を決断しました。一番頭を痛めたのは、マスコミとの調整でした。特に全国紙はキー局との資本関係もありますので、ローカルテレビ局の開設にも指導権を握ろうとしていました。当時の申請 17 社の名簿を見ますと、栃木よみうりテレビ放送・栃木あさひ放送・栃木毎日放送・栃木サンケイテレビ・栃木電通テレビ等の名前が並んでいました。そこで県内資本を中心としたオール栃木で作れば、県外資本を排除して県内 1 本化が出来るだろうという事で作られました。第 3 セクター方式で作ろうと、1996 年県内経営者代表者からなる「県域テレビ準備会」が発足しました。足銀の向江頭取が当時経済同友会の筆頭幹事、藤井清さんが商工会議所の会頭、豊田計さんが県農業中央会の会長、栗原義彦さんが県産業協議会の会長、そうそうたる方々が発起人となりました。郵政省が 17 社の 1 本化調整をしまして 1997 年 5 月に会社が設立されました。その 2 年後に開局致しました。初代社長は大江敏夫元副知事で、私は 5 代目です。開かれた県政の実践という事で、渡辺知事も積極的に支援をして下さいました。

会社内容ですが、売上よりも資本金が多いです。売上は 21 億から 22 億円です。資本金は 30 億円です。

栃木県は広告マーケットが小さいので県域テレビの経営は難しいという事は分っていましたので、資本金を手厚く集めようという事で 30 億円集めました。当時の設備投資が約 50 億円、30 億円を資本金で調

達し 20 億円を借入しましたが、現在借入金の返済は終了しております。社屋は旧県庁の北別館・3 階建ての旧別館を改装して使っています。社屋にはエレベーターがありません。親局は、八幡山の八幡タワーです。中継局は、県内に 49 ヶ所あります。野木町から要請がありまして、この程 49 番目の三轟山中継局が開始しました。群馬テレビの中継局は 30、テレビ埼玉は 16 です。栃木県は丘陵地帯です。山と山の間に集落が有ります。その為、中継局の整備に多額の費用が掛かりました。とちぎテレビの CM 料は高いと言われますが、電波量を維持する為にお金がかかることをご理解頂きたいと思います。株主ですが、栃木県が 20.66%、市長会が 8%、下野新聞が 6.5%、町村会が 5.33%、足利銀行が 5%、栃木銀行が 4.5% 等です。県域テレビの中で官の出資比率が二分の一というところは、とちぎテレビだけです。拒否権を持つのは三分の一です。第 3 セクターという会社と言い切ってもよいと思います。全国で一社のみです。全国にテレビ局は（民間の地上波テレビ）127 社あります。関東地方の東京キー局は 5 局です。番組配信を受けている準キー局、系列のローカル局等含めまして 109 局、独立局 13 局です。北海道にはテレビ局が 5 社あります。全国 47 都道府県に地上波のテレビ局は 127 社あります。他 BS・CS 等衛星系（民間放送事業）は 39 社あります。今分散化が進んでいます。関東地方の独立局は、テレビ埼玉・テレビ神奈川・東京 MX・千葉テレビ・とちぎテレビの 6 局です。後は近畿圏に 7 局あります。兵庫県のサンテレビ・京都放送・滋賀県のびわ湖放送・奈良テレビ・テレビ和歌山・三重テレビ・岐阜放送です。びわ湖放送・奈良テレビ・テレビ和歌山の社長は、県庁出身者です。新聞社出身者は、サンテレビ・とちぎテレビです。群馬テレビは群馬銀行の方です。他は、プロパーの方です。

開局 20 年に見えてきた課題は、技術革新です。4K・8K テレビ・ネットへの常時同時配信です。すでに NHK が BS で新 4K・8K 放送、民放や BS でも新 4K 放送が開始されています。2020 年のオリンピックに向けて 4K 対応のテレビが普及していくと思います。昨年の平昌冬季オリンピックで、NHK 宇都宮放送局が県庁の 1 階のフロアで 8K 放送を流しました。今見ている 2K の 16 倍、4K の 8 倍、高画質で、スケートリンクの選手の後ろに見える観客の顔もわかるくらい立体的で迫力がありました。残念ながら地上波テレビでは、来年のオリンピックでは 4K・8K は見られません。昨年の暮れ総務省の幹部の方に「4K・8K の見通しが立っているのであれば、設備投資をしなければいけないので……」と聞きましたら、「国会議員の方は、圧縮して、そこに 4K・8K を流せるのではないかと言うけれど、地上波の電波の圧縮は難しく現時点では電波領域に 4K・8K を流せる電波量は無い」という事で、見られません。

とちぎテレビが持っている 2K の中継車は 1 台 3 億円です。4K 対応の中継車は 5 億円です。現在の 2K に比べて 1.5 倍の設備投資です。ネットの常時同時配信は、NHK がこれから始めます。世界的に今年「隼元年」と云われています。日本で基地局の整備がつけば、これから「隼」対応が進むと思います。先週関東情報通信局の集まりがありました。NTT ドコモの豊島区ネットワーク通信局から来られた方に、辛口の話も聞きました。「テレビもネットの常時同時配信に照らして色々やらなくてはいけないのでは？」と話されていました。現在は、総務省が周波数の割当て申請を受けている所です。これから基地局の整備に入り、オリンピックの時は東京及びその周辺で、宇都宮あたりは 2021 年頃になると思います。ちなみに、サムスン・中国のファーウェイが隼対応の折りたたみスマホの発売を予定しております。開くとタブレット型になり、スポーツ中継とか映画を楽しめるという事です。1 平方 km で 100 万台に同時配信・同時接続出来るという事で、革新的な時代になっていくのではと思っています。下野フォーラムで富士通の方が、今でもネットでライブ音楽を流したり出来ますが、今後は色んな所で使われるようになってくると 2025 年にはテレビのマーケットを抜いて一番に、インターネットと同じ柱になってくるのではなからうかと話をしていました。技術の進歩が恐ろしく進んでいくと思います。2019 年にはテレビの広告マーケットがネット広告に抜かれて、2025 年には地上テレビの広告は VR の広告に抜かれるという事です。テレビもネットを避けて通れません。我々もネットへの対応をしなければならないと思います。若者のテレビ離れは、どうなのか？今 NHK 文化センターは 5 年毎に調査をしております。直近 2015 年を見ま

すと、1日15分以上見ている人が国民全体で85%です。20歳代は62%です。2020年の調査では更に加速して、若い人はテレビからネットにシフトすると思われます。テレビ会社はコンテンツ制作会社として生き残りをかけないと、存続が難しい時代に入ってきたかと思います。今総務省ではグローバル社会の対応という事で、放送コンテンツを海外へ展開するようにと補助金を出しています。北海道テレビはケーブルテレビを通じて北海道の紹介番組を放送しています。1997年台湾からの観光客が北海道に年間5万人来ておりましたが、2016年には53万人に増加しました。今ローカル局で観光地を持っている当局は、番組を製作して台湾のケーブルテレビで流したり、韓国首都圏最大のケーブル局と連携して県を紹介する番組を流したりしています。グローバル化してインバウンドを呼込む為に情報発信を現地のケーブルテレビ・ネットを使いながらターゲットを絞り観光をPRしている時代となっています。今年は、ラグビーの世界カップ関係で50万人位が海外からみえると下野フォーラムで話をしておりました。今後は「選ばれる栃木」というのが、キーワードになってくるのではないのでしょうか。選ばれる栃木になる為には、消費者目線・ユーザー目線が更に必要となり・利用者の方々から、どう選んで頂けるという事が重要になってくるかと思います。とちぎテレビも「選ばれる栃木」と「選ばれるテレビ」という事で、県民の皆様にご覧いただき、とちぎテレビの存在をより知って頂けたらと思います。とちぎテレビは地域愛で支えられているテレビ局ですので、いろいろな番組を通じて1人でも多くの方に地域に感心を持って頂けたらと頑張っています。今後ともご支援を宜しくお願い致します。つたない話でしたが、御清聴を有り難うございました。

---

### 【3月卓話】

3月12日(火)「とちぎテレビ開局20周年に思う」

黒内和男様                      とちぎテレビ代表取締役社長

3月19日(火)「栃木県ゴルフ振興基金」について

福島範治様                      (株)鹿沼カントリー倶楽部 代表取締役社長

3月26日(火) 例会休会

---

＝当日の食事＝



シーフードカレー  
サラダ 福神漬

会報担当：池田 剛 会員

画像担当：菅谷 隆臣 会員